

日中対照言語学会会報 (No.22)

2013年5月13日(月)発行 会報担当:高橋弥守彦 豊嶋裕子

目次

1. 日中対照言語学会第29回大会(2013年度春季大会)プログラム
2. 日中対照言語学会拡大常務理事会審議結果(2013年4月27日[土])
3. 常務理事・理事の推薦について
4. 役員選挙について
5. 3.4月定例会報告

※事務局より

1. 日中対照言語学会第29回大会(2013年度春季大会)プログラム

日中対照言語学会

第29回大会(2013年度春季大会)のご案内

本学会では、下記の要領で2013年度春季大会を開催いたします。会員の皆さまには、お誘い合わせのうえ奮ってご参加下さい。また、会員以外の方の参加も歓迎いたします。

記

日時:2013年5月26日(日)午前9時30分より午後5時30分まで

会場:東洋大学(2号館16Fスカイホール)都営三田線白山駅から徒歩5分、メトロ南北線本駒込駅から徒歩5分、JR山手線巣鴨駅から徒歩20分。

参加費:1000円(会員、非会員共通)

プログラム

受付(9:30-)	総司会 竹島毅(大東文化大学)	
大会開催挨拶 王亜新(東洋大学)		9:40-9:50
開会の辞 横川伸(東洋大学名誉教授)		9:50-10:00
研究発表1. 無対自動詞の意味的特徴について 汪然(北京大学博士後期課程)		10:00-10:35
研究発表2. 条件接続表現の日中対照“一p, 就q”を中心に 馬一川(北京外国語大学博士後期課程) 以上司会 安本真弓(高千穂大学)		10:35-11:10
休憩(10分:11:10-11:20)		
研究発表3. 日本語の「名詞+助詞」と中国語の“介词+名词”の対応関係 劉志偉(首都大学東京)		11:20-11:55
研究発表4. 疑問表現形式としてのノデハナイカ 戴宝玉(上海外国語大学) 以上司会 加藤晴子(東京外国語大学)		11:55-12:30
昼休み(60分 近くにレストランあり)		12:30-13:30
講演. 対人関係の言語学-社会文化的な視点から対照研究にアプローチする-		

三宅和子 (東洋大学)	13:30-14:30
研究発表 5. 日中両言語における受身表現の表す意味体系 高橋弥守彦 (大東文化大学) 以上司会 山口直人 (大東文化大学)	14:30-15:05
休憩 (15分: 15:05-15:20)	
研究発表 6. “有着” 構文について 白愛仙 (明星大学 非常勤)	15:20-15:55
研究発表 7. 「V+着」と<V+テイル>について 時衛国 (愛知教育大学)	15:55-16:20
研究発表 8. 日本語の「～タコトガアル」と中国語の“V过” 王学群 (東洋大学) 以上司会 続三義 (東洋大学)	16:20-16:55
総会 平山邦彦 (拓殖大学)	16:45-17:15
閉会の辞 鈴木義輝 (早稲田大学)	17:15-17:30
※入会申し込み、学会開催当日に学会費の納入も受け付けます。(年会費:社会人 4000 円、院生 2000 円)	

2. 日中対照言語学会拡大常務理事会審議結果

日時:2013年4月27日(土)15時~17時半 場所:東洋大学浦水会館201号室

出席者:高橋弥守彦、王学群、続三義、山口直人、竹島毅、安本真弓、椿正美

1) 第29回日中対照言語学会春季大会(2013年度)

2013年1月28日(月)発行(No.21)の会報報告のとおり、第29回大会は2013年5月26日(日)東洋大学2号館16階スカイホールで開催する。アルバイトの学生数は従来通りとし、茶菓子、紙コップなど(午前、午後各2000円を上限とする)も提供する。

2) 学会誌について

学会誌の校正と編集は順調に進んでいるとの報告がなされた。15本中8本を掲載(論文は執筆要領による18枚以内とする)、2012年度冬季大会における工藤真由美先生の講演を学会誌15号に掲載する。

3) 日中対照言語学会第30回大会(2013年度冬季大会)および月例会研究発表者の募集

日中対照言語学会第30回大会(2013年度冬季大会)は記念大会として、予定通り講演者を3名とする。記念大会なので、12月中の土、日に行うのが望ましい。できれば、土曜日の夜に懇親会も行う。

4) 研究発表者の募集

30回大会(モダリテイ特集大会)および月例会の研究発表者を募集いたします。30回大会は10月7日(月)までに東洋大学(王学群 Lwn365@yahoo.co.jp)または大東文化大学(高橋弥守彦 3441748402@jcom.home.ne.jp)までお申し込みください。月例会は随時募集いたします。原則として4月から7月は東洋大学、9月から3月は大東文化大学で開催いたします。ご連絡をお待ちいたしております。なお、8月および春季・冬季大会開催月は月例会を休会といたします。

3. 常務理事・理事の推薦について

関東地区からは趙昕会員（拓殖大学）、関西地区からは時衛国会員（愛知教育大学）が満場一致で推選された。春季大会の総会で報告することとした。

4. 役員選挙について

慎重に選挙方法について審議した。2013年1月28日（月）発行（No.21）では、次の3案を紹介した。第1案：半数の常務理事を選挙する。第2案：従来通りとする。第3案：会員からの意見により行う。

第3案は会員から事務局長の方への提案がなされなかったため、第1案と第2案のいずれかで話し合いがなされたが、結果として第2案が支持された。しかし、この件は重要なため現執行部を一年間延長し、第30回大会までに次期理事長などの執行部を選び、来年の春季大会に総会にかけることとした。

5. 2013年3月、4月定例会報告（司会：石井宏明、王学群）

5.1. 2013年3月日中対照言語学会月例会

ひと：汪然（北京大学博士後期課程）

日時：2013年3月30日（土）18：00～20：00

場所：大東文化会館 K-401

テーマ：他動詞の語彙的使役について

要旨：本発表は、他動詞を有対と無対の2種類に分けて、語彙的な使役を分析した。結論としては、以下の3点が挙げられる。

- (1) 無対他動詞は片方の働きかけを表わす動詞なので、文の中で対象物の自主性を無視している。
- (2) 意味的には、「主体動作・客体動き」パターンの有対他動詞が語彙的な使役を含意するのに対して、無対他動詞は語彙的な使役を原則として含意しなく、疑似使役的な性質だけが見られる。
- (3) 無対他動詞の受身は自動性が薄く、周辺的な自動性のみを持っている。

会場からの意見：

- 1、文法的使役に対する先行研究がまだ不十分なので補充すること。
- 2、文法的使役に強制・誘発・許可・放置・責任があり、語彙的使役にまったく同じような5種類の下位分類があるという結論は理想的すぎるのではないだろうか。
- 3、言語の世界は現実の世界と違っている場合があるので、混淆しないこと。
- 4、自他動詞の対応に対する説明をはっきりさせること。ローマ字で語幹と語尾を分けた方がいい。
- 5、他動詞の語彙的使役と自動詞の使役形と使役動詞を区別すること。

5.2. 2013年4月日中対照言語学会月例会

ひと：続三義（東洋大学）

日時：2013年4月27日（土）18：00～20：00

場所：東洋大学浦水会館 201号室

テーマ：日米の中国語発音教育について

続三義会員から昨年度一年間のアメリカでの研究生活の成果の一つとして、中国語発音教育に関する日米の発音教育などの詳細な報告がなされた。会場からの質問もあり続三義氏は丁寧に答えていた。

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。ただし、申し込みができない場合は王学群事務局長（Lwn365@yahoo.co.jp）、または竹島毅理事（sisi@crest.ocn.ne.jp）までご連絡をください。年間会費は社会人 4000 円、院生 2000 円となっています。皆さんの入会を歓迎いたします。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお願い申し上げます。
- 3) 年間会費の納入について
2013 年度の大会開催時に年間会費の納入を受け付けております。また、都合により出席されない会員に対しては次号の会報から請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしくお願いいたします。